

# 退教互会報

一般財団法人 岩手県退職教職員互助会

〒020-0022 盛岡市大通一丁目1-16岩手教育会館4階 ☎019(623)3300(代) ホームページ: <http://iwatetai.webcrow.jp/>  
発行・編集責任者 高橋道明



〈教育会館エントランスにて〉

## 目次

健康保険変更時に新保険証コピーの送付を／ 3割負担・住民税非課税世帯の皆様へのお願い…	2
元号改正に伴うお知らせ／公益文化事業…	3
お薬手帳持参で医療費が安くなる!?!／ かかりつけ薬局 …	4
「訪問薬剤管理指導」のご案内／ わらび座公演の紹介 …	5
気仙地区会活動報告 …	6
おくやみ欄 …	7
全国教職員囲碁大会／陳情行動 会員からのお便り／あとがき …	8

## 思い出の“フォト”

### “復活” 退教互けん研修旅行

東日本大震災後、しばらく中断していた「研修旅行」を2018年11月30日に実施しました。気仙教育会館発→陸前高田市→住田町経由で岩手教育会館着。教育会館では、退教互・教育会館事務室や岩教組本部も訪ね、会館建設のスライドも観せて貰いました。参加者からは「明るく立派になった教育会館を誇りに思う」との感想も聞こえてきました。その後県立美術館へ移動、帰路に着きました。

## ご加入の健康保険が変わったら 新しい保険証のコピー を退教互へお送りください

毎年4月は、退職、就職、任意継続期間の終了等でご加入の健康保険が変わる方の最も多い時期です。ご加入の健康保険が変わった方は、必ず退教互へ「新しい保険証のコピー」の送付をお願いします。

なお、ご加入の健康保険が変わると、病院・薬局等へ提出する「診療報酬請求書」への記入内容も変わります。必ず新しい健康保険証の区分と記号番号、保険者番号のご記入をお願いします。

また、ご加入の健康保険によっては、退教互からの給付の受け方、受診の要領が変わる場合があります。新しい保険証の交付を受けられましたら、速やかにお届けください。

## 3割負担の皆様と住民税非課税世帯の皆様へのお願い

### 3割負担の皆様へのお願い

高額療養費の自己負担限度額を超える医療費の支払いが生じる場合は、自己負担限度額までの支払いで済む取り扱いが開始されています。(高額療養費の現物給付化)

自己負担限度額は、その方の年齢と所得によって異なり、69歳以下の方は5段階に、70歳以上の方は3段階に区分されています。

しかしながら、健康保険証にはその区分の標記はありません。

その為、自己負担限度額までの支払いで済む取り扱いを受けるためには、ご加入の健康保険から別途「限度額適用認定証」(以下「認定証」という)の交付を受け、病院・薬局等へ提示することが必要です。

会員の皆様にはお手数をおかけして恐縮ですが、ご加入の健康保険へ「認定証」の交付を申請し、病院・薬局等へご提示いただくと共に、退教互にもそのコピーのご送付をお願いします。

※高額療養費の自己負担限度額及び所得の基準額等については、毎年会員の皆様にお配りしている「地区連絡会資料」に記載していますので、そちらをご覧ください。

### 住民税非課税世帯の皆様へのお願い

住民税の非課税世帯に該当する皆様には、自己負担限度額の軽減と食事療養負担金や生活療養負担金の減額措置が講じられています。

但し、その減額措置の適用を受けるためには、ご加入の健康保険から「限度額適用・標準負担額減額認定証」(以下「認定証」という)の交付を受け、病院・薬局等へ提示することが必要です。

非課税世帯に該当の方は、必ず「認定証」の交付を受け、病院・薬局等へご提示いただくと共に、退教互にもそのコピーのご送付をお願いします。

### 今回の会報をお送りしたご住所は、現在お住まいのご住所でしょうか？

お届けの電話が不通で、連絡の取れない方々が年々増加し困っています。この会報を転送先でお受け取りの方は、現在お住まいのご住所、電話番号をお知らせいただければ幸いです。

# 元号改正に伴うお知らせ

## 診療報酬請求書 ……元号を訂正してご使用ください

本年5月1日から元号が変わりますが、会員の皆様にお配りしている「診療報酬請求書」、「療養費請求書」の用紙には、「平成」の表記が使われています。新元号施行後も現行の用紙を引き続きご使用いただけますので、お手数でも「平成」の2文字を新しい元号に訂正してお使いくださいますようお願いいたします。

なお、訂正いただく箇所は、下記の図で示した箇所ですが、病院・薬局等へご提出いただく「診療報酬請求書」については、訂正忘れのないようくれぐれもご注意ください。

**診療報酬請求書**

1 診療報酬請求書 (入院・入院外)  
2 1  
3 3  
4 4  
5 5  
6 6

「平成」の2文字を二重線で末梢し、その上に新元号を記入してご使用ください。

**療養費請求書**

「平成」の2文字を二重線で末梢し、その上に新元号を記入してご使用ください。

※新元号施行後の最初の年表記には、「元年」ではなく「1年」と数字でのご記入をお願いいたします。

# 公益文化事業



(新岩手教育会館特設会場)

2018年度の公益文化事業は、岩手教育会館、岩手県教職員互助会、岩手県高校教育会館との共催により、9月「いしがきミュージックフェスティバル」11月「岩手教育芸術祭美術展・岩手県婦人合唱発表会・室伏重信0講演会」を開催し、沢山の方々にご来場いただきました。

### 第47回岩手教育芸術祭 美術展入賞者 (敬称略)

	絵画の部	書道の部	写真の部
芸術祭賞	高橋 邦枝 (盛岡市)	上野 光久 (県教委)	佐々木克彦 (盛岡市)
優秀賞	伊藤 勇 (奥州市)	横田 朗子 (北上翔南高)	平館 徹 (盛岡市)
	辻 齊一 (奥州市)		
奨励賞	瀬川 睦子 (盛岡市)	吉田 充 (黒沢尻北小)	瀬川 誠孝 (花巻市)
	厚谷 淑恵 (盛岡市)	芳賀 尚代 (盛岡市)	千葉 洋一 (滝沢市)
	佐々木 斉 (盛岡市)	田貝 彩佳 (盛岡市)	達下 才子 (黒沢尻北高)
	井手 誠 (釜石市)	寺崎 良謙 (黒沢尻北高)	中嶋 敬治 (綾里小)
	松川 ナオ (煙山小)		



## お薬手帳持参で医療費が安くなる!?

会員の皆さん、「お薬手帳」を持参すると、持参しなかった時に比べ医療費（調剤料）が安くなるケースがあります。

### ●お薬手帳を持参し窓口で提示すると医療費（調剤料）の負担が軽くなります。

薬局でお薬を調剤してもらう際には「薬剤服用歴管理指導料」が発生します。

お薬手帳を持参し、窓口で提示することで、指導料が530円から410円に下がり、医療費の自己負担が1割負担の人は10円、3割負担の人は40円ほど安くなります。

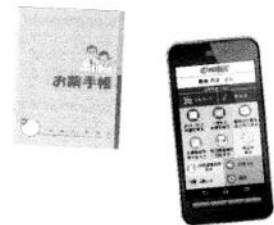
### ●医療費（調剤料）が安くないケース

お薬手帳を持参しても次に該当する場合については医療費（調剤料）が安くなりません。

1. その薬局で、過去6か月以内に調剤を受けたことがない。
2. その薬局が大病院の前にあるチェーン薬局（門前薬局）である。
3. その薬局が病院の中にある薬局（門内薬局）である。

### ●お薬手帳を活用するメリットは

1. お薬の服用履歴が分かり健康管理に役立つ。
2. 複数の医療機関を利用している場合、他局での薬歴がわかる。
3. 飲み合わせのリスクを減らし重複投与を防止できる。
4. アレルギー等の病歴を医師・薬剤師に正しく伝えることができる。
5. 薬の名前や量を正しく伝えることができるため、緊急時に役に立つ。



以上のことから、退教互としては、調剤薬局に処方箋を持参する際、忘れずにお薬手帳も持参し、提示する取り組みを行ない、医療費の節約に努めたいと考えておりますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

お薬手帳持参 = 退教互の医療費給付の節約

かかりつけ薬局があれば、安心です。

### 薬を安心・安全に使用する「3つのポイント」

- ① 普段から利用する薬局を、1つ選んでおきましょう。
- ② 調剤された薬や購入した薬について、その薬局で、継続的に管理してもらいましょう。
- ③ 何でも相談できる薬剤師を見つけましょう。

「かかりつけ薬局」では、

- あなたが服用している医療機関からの処方薬や市販薬について一元的・継続的に管理し、薬の重複や相互作用を防ぎます。
- あなたの薬の使用記録（薬歴）を作り、きめ細かい薬剤管理・服薬指導を行います。
- 薬の効果や副作用などについて、継続して確認します。
- 飲み残しや飲み忘れがないよう薬物治療をサポートし、残薬を減らします。
- 在宅療養中の方には、ご自宅等にお伺いして、薬剤管理・服薬指導を行います。
- いざというとき、困ったときには、休日・夜間でも相談することができます。

# ～ 薬剤師による「訪問薬剤管理指導」のご案内 ～

岩手県薬剤師会

通院困難等の理由により、ご自宅等で療養を行っている方が増えてきており、「薬の管理ができない」「薬が飲めないことがある」など、薬に関する相談が多くなってきています。「訪問薬剤管理指導」は、その様な状況に対応するため、薬剤師が直接療養の場を訪問し、薬の管理や説明を行うことです。

個々の問題点等にきめ細やかな対応を行いますので、是非ご活用ください。

「訪問薬剤管理指導」は、医療保険や介護保険による一部負担金が発生します（1割～3割負担）。詳しくは、「かかりつけの薬局（あなたの頭に浮かんだ薬局）」にお問い合わせください。



## 在宅訪問可能な 薬局はコチラ!

- 1 岩手県薬剤師会 検索
- 2 トップページ/「在宅訪問可能薬局」をクリック



- 3 当会「在宅訪問可能会員薬局リスト」からご確認ください



### ..... わらび座公演のご紹介 .....



ミュージカル「いつだって青空～ブルマー先生の夢～」

日時▶2019年4月13日（土）～9月25日（水）

会場▶あきた芸術村 わらび劇場

（秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田430）

【チケット料金（当日券）】

一般 3,780円 高・大学生 3,024円 小・中学生 2,700円

詳しくは、あきた芸術村予約センターへ

TEL 0187-44-3939（電話受付時間8：30～17：30 月～土）



# 気仙地区活動報告

## 4 地域会独自企画「秋の集い」

気仙地区会事務局長 三浦昌弘

気仙地区は全体としては、6月の総会・懇親会、囲碁同好会の月1回の定例会、10月の囲碁大会、研修旅行、学習会等の活動を行っていますが、それに加えて、4つの地域会が独自企画として「秋の集い」を開催しています。

今年度の内容は以下の通りです。

- ・大船渡地域会 9月28日 大船渡湾屋形船「潮騒」湾内巡り
- ・高田地域会 10月21日 高田松原松苗の周りの草取り作業
- ・三陸地域会 10月18日 総会・親睦交流会
- ・住田地域会 10月3日 グラウンドゴルフの集い・懇親会

紙面の都合で、この中から東日本大震災復興に関連した、大船渡地域会と高田地域会の2つの取り組みを報告します。

### 【大船渡地域会】

震災前は、懇親会を中心に行事を企画していましたが、震災後街の復興に合わせて、復興関連の行事を企画実行してきました。内容としては、南リアス線開通にともなった平成27年・28年の「震災復興支援『三陸レトロ貸し切り列車の旅』盛～釜石往復」、平成29年・30年の「大船渡湾屋形船『潮騒』湾内巡り」の企画です。

30年度は17名が参加。天気も良く、湾内は波も穏やかで、屋形船は順調に船着き場を出航。海から見える街の様子は陸から見る景色とは一変します。街が見えないほどの高さに築かれた防潮堤、やや小高い丘の中腹に点在する集団移転のために造成された新しい住宅地、山肌を削って伸びている新しい道路、高台に新築された小学校・中学校などなど。復興の進捗状況が手に取るように分かる。それらの景色を眺めながら、船は湾の入り口に当たる湾口防波堤に近づいていく。湾内は穏やかなのだが、ちょっと防波堤から外海にでると海の様子が一変する。うねりもあり、風もやや強い。安全を考慮して、船は程なく湾内に引き返した。

船内ではおいしい料理を食べながら、参加したみなさんが大いに交流を深めることができた。1時間30分ぐらいの就航時間であったが、震災の爪痕の深さを改めて認識するとともに、復興の進み具合も確認できた貴重な時間であった。

### 【高田地域会】

陸前高田市は気仙地区の中で最も甚大な被害を受けた所です。多くの会員も失いました。街づくりは様々な分野にわたりこれからも長い年月を必要としています。

高田地域会は震災復興の一助として、震災後消失した「名勝 高田松原」復興に向け、数年前から関係団体と連携しながら取り組んでいます。これまでに、松苗の植林、植林した幼木の風防止柵の取り付け等行いました。



今年は植林した松の幼木の周りに生い茂った雑草を取り除く作業を行いました。普通日は工事車両の通行が頻繁なため、安全を考慮し工事のない日曜日に開催したにも関わらず、27名の会員の皆さんが参集しました。秋の海風をうけながら、鎌や草刈り機等で繁茂した草を除去しました。作業に汗を流しながらも、久しぶりに顔を合わせた人もあり、会員相互の交流も図れた有意義な一日だったと聞いています。

■おくりやみ申し上げます<敬称略>

会報88号掲載以降の方々です。退教互から香奠を給付し、ご冥福をお祈り致しました。

盛岡地区
2017年10月23日 85歳
2018年5月10日 97歳
2018年8月5日 83歳
2018年8月10日 67歳
2018年8月24日 63歳
2018年8月28日 91歳
2018年9月4日 82歳
2018年9月8日 90歳
2018年9月10日 86歳
2018年9月16日 85歳
2018年9月17日 83歳
2018年9月17日 80歳
2018年9月18日 85歳
2018年10月10日 87歳
2018年10月13日 90歳
2018年10月16日 89歳
2018年10月30日 95歳
2018年11月9日 93歳
2018年11月16日 88歳
2018年11月19日 91歳
2018年11月20日 85歳
2018年11月21日 93歳
2018年11月24日 92歳
2018年11月27日 89歳
2018年11月28日 92歳
2018年11月28日 90歳
2018年11月29日 79歳
2018年12月1日 90歳
2018年12月3日 82歳
2018年12月5日 84歳
2018年12月11日 85歳
2018年12月18日 83歳
2018年12月19日 89歳
2018年12月29日 89歳
(盛岡第三高校)
2019年1月2日 47歳
2019年1月2日 93歳
2019年1月16日 86歳
2019年1月16日 85歳
2019年1月23日 92歳
2019年1月23日 85歳
2019年1月27日 90歳
2019年1月27日 88歳
2019年2月1日 85歳
2019年2月3日 88歳
2019年2月5日 84歳
2019年2月9日 90歳
2019年2月13日 77歳
【岩手地区】
2018年8月20日 79歳
2018年9月30日 96歳
2018年10月19日 96歳
2018年11月11日 87歳
2018年12月14日 82歳
2019年1月7日 70歳
2019年1月18日 70歳
2019年1月29日 83歳
【紫波地区】
2018年9月14日 91歳
2018年9月16日 87歳
2018年9月26日 67歳
2018年10月24日 92歳
2018年10月26日 93歳
2018年11月14日 87歳
2018年11月14日 71歳
2018年12月12日 86歳
2018年12月20日 86歳
2019年1月27日 87歳
2019年1月27日 84歳

【稗貫地区】
2018年8月28日 89歳
2018年10月12日 81歳
2018年11月17日 93歳
2018年11月21日 98歳
2018年12月7日 85歳
2018年12月19日 89歳
2018年12月27日 89歳
2019年1月9日 82歳
2019年1月19日 91歳
2019年1月26日 89歳
2019年2月2日 99歳
【和賀地区】
2018年8月18日 77歳
2018年8月29日 95歳
2018年9月3日 63歳
2018年9月20日 97歳
2018年9月22日 88歳
2018年9月23日 84歳
2018年9月20日 97歳
2018年10月23日 85歳
2018年10月24日 69歳
2018年10月28日 103歳
2018年11月3日 81歳
2018年12月4日 88歳
2018年12月17日 88歳
2019年1月9日 95歳
2019年1月26日 99歳
2019年2月2日 88歳
2019年2月5日 88歳
【胆沢地区】
2018年9月3日 88歳
2018年9月4日 88歳
2018年9月6日 78歳
2018年9月12日 90歳
2018年9月16日 77歳
2018年9月18日 94歳
2018年10月3日 94歳
2018年10月14日 74歳
2018年10月29日 91歳
2018年10月31日 86歳
2018年11月6日 72歳
2018年11月9日 85歳
2018年11月13日 90歳
2018年11月18日 88歳
2018年11月26日 97歳
2018年12月21日 87歳
2018年12月21日 87歳
2019年1月6日 88歳
2019年1月12日 88歳
2019年1月15日 76歳
2019年1月22日 101歳
2019年1月30日 91歳
2019年2月1日 83歳
2019年2月1日 74歳
2019年2月3日 87歳
2019年2月13日 93歳
2019年2月13日 89歳
2019年2月14日 85歳
【江刺地区】
2018年8月7日 95歳
【西磐井地区】
2018年8月13日 86歳
2018年8月29日 71歳
2018年9月3日 86歳
2018年10月5日 77歳
2018年10月6日 80歳
2018年10月18日 87歳
2018年10月26日 82歳
2018年10月28日 83歳
佐藤節子
菅原正彦
佐立サカリ
松田繁潔
似内敬一
関谷山雄
菅田昭一
川股精子
玉山サイ
沢田祐子
菅原ノブ子
高橋晃
高橋リサ
高橋サダ
石川静子
高橋リサ
及川和男
及川英秀
藤田ツマ
伊藤昌吉
及川千里
川村一壽
高橋正幸
太田代公
桑島平
小幡正巳
小幡直士
千田トシ
多田野綾子
小松原茂
齋藤サキ
佐藤惇
花泉満
高橋茂
佐藤紳夫
千葉彰夫
佐藤政吉
羽藤剛
佐藤信子
伊東軍之進
岩瀨文夫
小野寺辰夫
石川行雄
武田マサ
千田節男
池田惣一郎
佐々木豊
伊藤弘
関村三恵子
及川恭記
鈴木昭穂
亀井チヤ
志和節
永澤洋子
安部邦朗
小野寺豊
小原麗子
佐々木啓子
戸川トミ
高橋昭雄

【西磐井地区】
2018年10月30日 86歳
2018年11月10日 89歳
2018年11月11日 88歳
2018年11月15日 66歳
2018年11月17日 75歳
2018年11月23日 93歳
2018年12月8日 87歳
2018年12月18日 88歳
2018年12月30日 95歳
2019年1月16日 81歳
【東磐井地区】
2018年8月7日 83歳
2018年8月23日 82歳
2018年10月1日 90歳
2018年10月1日 90歳
2018年10月17日 86歳
2018年11月18日 89歳
2018年12月8日 96歳
2019年1月3日 78歳
2019年1月26日 68歳
2019年2月6日 106歳
【気仙地区】
2018年9月4日 86歳
2018年9月26日 85歳
2018年10月21日 78歳
2018年10月28日 83歳
2018年12月1日 85歳
2018年12月29日 87歳
2019年1月23日 91歳
2019年1月24日 88歳
(大船渡東高校)
2019年1月29日 50歳
2019年2月1日 82歳
菊池謙一
柏館和子
木村哲
【釜石地区】
2018年10月17日 89歳
2019年1月17日 92歳
【宮古地区】
(宮古高校)
2018年10月19日 48歳
2018年10月29日 74歳
2018年11月1日 94歳
2018年11月11日 78歳
2018年12月11日 83歳
2018年12月29日 76歳
2019年1月16日 73歳
2019年2月2日 88歳
2019年2月14日 72歳
佐々木祐智
高濱巖
小向幸司
田崎忠一
早野敏一
中村建明
大村次男
榎本一枝
佐々木良幸
【下北地区】
2018年10月8日 73歳
【九戸地区】
2018年10月29日 91歳
2018年11月5日 87歳
2019年1月15日 87歳
島川志千夫
【二戸地区】
2017年2月24日 87歳
2018年8月17日 88歳
2018年11月5日 86歳
2018年11月11日 83歳
2018年11月22日 87歳
2018年11月25日 88歳
2018年12月17日 84歳
2019年1月30日 92歳
【東京地区】
2018年2月14日 90歳
2018年11月18日 89歳
【仙台地区】
2018年9月28日 97歳
2018年12月4日 93歳
【北海道札幌市】
2019年2月2日 78歳
菅原幸男
千葉雅一
小野寺康行
小野寺弘行
三浦新作
花籠純四郎
千葉厚夫
藤島康彦
千葉敏夫
川口一成
三浦治四郎
岡崎金男
松川和子
松川敬吾
小山玄夫
永澤孝
金野節子
千葉得二
小野寺董
紀室久米治
佐々木逸子
瀧本英男
吉田繁吾
佐藤勇代
浅野美雄
本田耕之輔
鈴木公美
菊池謙一
柏館和子
木村哲
佐々木祐智
高濱巖
小向幸司
田崎忠一
早野敏一
中村建明
大村次男
榎本一枝
佐々木良幸
三好孝司
村田フミ
佐々木信子
島川志千夫
大森スエ工
野里俊夫
中居昇吾
中澤耕作
相馬力
高村昌男
藤原守信
古水ミヨ
福嶋幸子
山崎英子
皆川富美
佐藤文伍
片山毅



# 全国教職員囲碁大会

菊地 賢二さん ※ 第3位 ※ (段位戦)  
藤野 知代さん ※ 敢闘賞 ※ (女流戦)



(岩手県予選対局風景)

去る1月6日に、東京・市ヶ谷の日本棋院会館で開催された第36回全国教職員囲碁大会(全国教職員互助団体協議会主催)に於いて、岩手退教互から代表出場した、菊地賢二さん、藤野知代さんがそれぞれ、第3位、敢闘賞に輝きました。おめでとうございます。

この全国大会の出場をかけた岩手県予選は、昨年11月7日に新岩手教育会館で開催されました。各地区から選抜された41名(名人戦9人、段位戦24人、級位戦6名、女流戦2名)の棋士によって、白熱した戦いが繰り広げられ盛会裡に終了しました。

岩手県予選の結果は以下の通りです。

	名人戦の部	段位戦の部	級位戦の部	女流戦の部
優勝	藤野 薫 六段(盛岡)	田貝 孝 五段(盛岡)	横田 祐佑 1級(気仙)	藤野 知代 二段(盛岡)
準優勝	皆川 修 六段(東磐井)	菊地 賢二 五段(気仙)	島田 繁弘 2級(宮古)	軽石十三子 5級(和賀)
第三位	馬場 雄三 六段(稗貫)	菅原 修 四段(二戸)		
//		古山 正明 三段(盛岡)		

※太字は全国大会派遣者、( )内は地区名

※全国大会段位戦には 優勝者の田貝 孝さんが出場を辞退されたため、準優勝者の菊地 賢二さんが出場しました。

## 陳情行動

今年度も、現職・退職会員の皆様に「国民が安心して暮らせるための社会保障制度確立等を求める陳情」の署名活動にお取り組みいただきました。その結果、集約された署名簿の回収数は3,026枚(回収率23.1%)で、署名者数は20,932人(全国集計では503,867名)となりました。

この署名簿を携え、昨年11月22日に全国の教職員互助団体からの陳情団と共に、政府・政党・関係国会議員への陳情を行いました。岩手退教互からは、坂下正典理事、東京地区松淵昂会長、退教協阿部作生事務局長、事務局高橋の4名が参加し、岩手県選出の国会議員への陳情も行ってきました。

陳情署名活動にお取り組みくださいました会員の皆様、ご協力ありがとうございました。

## 会員からのお便り

二戸地区 石川喜三郎さんより  
寒い寒い冬です。今は珍しくなった薪ストーブで暖をとっています。来年は薪造りができるか心配です。さて、永い永い間、退教互のお世話様になって参りましたこと、心から感謝申し上げます。退職後すぐとは違い、24年も経てば、あちこち悪くなり、病院に行くことが多くなってきました。安心して通院できます。そして窓口での負担がなく、また待ち時間もないだけでも気分爽快です。この度、診療報酬等の用紙のお願いをいたしたところ早速に送っていただき助かっております。ありがとうございました。

## あとがき

今年10月実施予定の消費税増税。それによる家計負担は2.2兆円。政府は軽減策として5.4兆円を予算措置。消費税は高額所得者もそうでない人々もみな同じ割合で負担する「逆進性」が指摘されています。カードやスマートフォンを用いたキャッシュレス決済なら5%還元され3%のお得になるとか。やっと携帯電話(ガラケー)の使い方を覚えた過疎地に暮らす両親がキャッシュレスカードやスマートフォンを使う日がくるのだろうか……。(み)